

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほど申されましたように、ただ、今この被害者の方のほう（「まとめてください」と呼ぶ者あり）加入されてある保険については、もう御承知のように何かなかなか今はっきりして出せるというような状況ではないということは聞いております。

そういうことで、我々といたしましては何度も言いますがこの一級建築士の見解を得て、そしてまたこの瑕疵の判断となる危険性、そして予測可能性、回避可能性について総合的に判断して瑕疵と認めざるを得ないということで判断をしているということを申し上げます。

○議長（小川 廣康君） これで、もう時間です。（発言する者あり）時間かかりますか。はい、じゃ特別に許可します。どうぞ。12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） すみません、最後に一つですね。

国家賠償法というのがございますけども、ただ瑕疵というのをはしっかりと確認をしてくださいよ。瑕疵がもう法律で決まるとるんだから、これが瑕疵だというのは。この見解書はその瑕疵も何もうたっていない。これが瑕疵をうたっていればいいんですよ、これが瑕疵だということを。

そういうことで何度も言うけども、まず今の建物は保険で直してもらって、そして後はそういうような形での補償を考えていただきたいと思います。

これ以上言っても無駄でございます。

以上。

○議長（小川 廣康君） これで、小宮教義君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を11時10分からといたします。

午前10時53分休憩

午前11時07分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） 皆さん、おはようございます。

新政会17番議員の作元でございます。実は、私は昨年12月の定例会でこの一般質問を通告しておりましたが、自分の都合で登壇することができませんでしたので、今回改めて中身も若干ずれるところがあるかも分かりませんが、質問をしてみたいと思います。

さて、世界中で猛威を振るっております新型コロナウイルスの発生から1年が経過をいたしましたけれども、まだまだ終息の機会を迎えることができておりません。ワクチンの接種も始まり終息を迎えることに期待をしておきたいと思っております。

通告をしておりました3点につきまして順にお尋ねをしてみたいと思います。

平成30年6月定例会でもこの件につきましてお尋ねをしておったと思います。その件について質問をしていきたいと思います。

まず、対馬のこれからの観光対策について、特に今回は中対馬地区の現状と今後の取組についてお尋ねをいたします。

対馬の観光について語るとき、浅茅湾の周遊コース、浅茅湾観光が最重要施策ではないかと考えております。まず、和多都美神社、烏帽子岳のコース、今、和多都美神社の一番沖の大鳥居が昨年の台風9、10号で倒壊をしております。宮司さんの話によりますと「9月の大祭までには建立をしたい」という話をされております。「全国からたくさんの御寄附も頂いております」ということであります。完成すれば全国各地から多数の参拝者が訪れることと思います。

次に、和多都美神社から濃部浅茅湾、そしてパールブリッジを通過して万関橋方面に抜けるところに狭瀬戸があります。これも前回質問を市長にしておりましたけれども、浅茅湾周遊コースをつくり上げる中で重要なコースであります。前回の答弁でもいただいておりますけれども、かなりの予算が必要であるということは承知をしておりますけれども、どうしてもしけを乗り越えて浅茅湾をゆっくりと回るコースをつくるためには、この補助事業をいろいろ考えていただいてこの狭瀬戸の掘削をやっていただきたい。長さが約300メートルか、幅が30メートルのコースで、案外直線につながっているところですから、ぜひもう一回この計画を作り上げていただきたいなというふうに思います。

次に、あそうベイパーク、ゲンカイツツジの森の関係で少しお尋ねをしておきたいと思います。

全体で60ヘクタールを有する一大公園ができ上がりつつあります。100名に近いボランティアの皆さん方の力添えがあつてのことだというふうに思っております。散策道の整備、景観を阻害する大木の伐採、休憩ベンチ、展望所の設置など順次進めて誰もが一日楽しめるような公園に作り上げていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

次に、今よく話題に出てきております金田城の関係ですけれども、昨年のGoToキャンペーン中には国内の観光客が数多く訪れていただき、全国に百名城の山城として知れわたるようになっております。新型コロナ終息が見えて、また旅キャンペーンが実施されるようになると、多くのファンの人たちが訪れてくれるようになるというふうに思われます。対馬市として、これからこの金田城をどのように生かしていくか、PR活動をされるのか、市長の話によりますとトイレカーの設置も予定されているようでございますけど、その駐車場の設定も、ぜひ進めてほしいということを申し上げておきたいと思います。

それから、2点目、藻場造成の件ですけれども、今現状と今後の取組についてということでお尋ねをします。

対馬でも各地でいろんな方策で、県の事業も併せて藻場造成が取り組まれておりますけれども、なかなかいい成果が上がっていないというふうに思っております。

御承知のとおり、対馬の山々は下草が枯れ、海へのプランクトンの流入が大幅に減少していると思います。海と山は一体の物であるというふうに認識をしております。今、豊玉町漁協管内でクヌギの植栽が行われました。800本ぐらい植栽されたんじゃないかなというふうに思いますけれども、これは一回の植栽だけではだめですね。やはり長い年月をかけて山と海と一緒に作り上げるというふうな対策を、県と一緒に話をしながらぜひ進めてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

次に、3点目ですけれども、教育長に1点お尋ねいたします。これは市長も少し関係あると思うのですが。

公式のグラウンドゴルフ場の設定でございますけれども、今、高齢者あるいは若者もそうなのですが、幅広い年齢層にグラウンドゴルフが普及しております。多くの人たちに愛されるスポーツになっているグラウンドゴルフ。

昨年は新型コロナの影響で大会も大分中止をされていたようですけれども、対馬で登録をされている人だけでも700人、登録なしでいろんなイベントに参加してされる方を含めると1,000人に近いグラウンドゴルフの人たちの人口が楽しんでおられます。これはゲートボールと違って一緒に和気あいあいの中で個人個人の点数を競いますから、健康の確認であるとか、元気だったかなとかいうような声かけが簡単にできる融和なスポーツであります。

全島に数多くある運動公園の見直しを一回されたらどうでしょうか。グラウンドゴルフ場を大きく3点、専門の会場を設定してほしいなという希望がたくさん出ておりますから、よろしくお願いをいたします。

以上、3点質問をいたしておきます。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 作元議員の御質問にお答えいたします。

初めに、中対馬地区の観光対策について。浅茅湾周遊コースの設定を見据えた狭瀬戸の掘削と拡幅についての御質問がありました。

浅茅湾はリアス式海岸の美しい景観から対馬の主要な観光地となっております。その中心に位置する狭瀬戸は名前のとおり、狭く浅い瀬戸のために真珠養殖漁船等の小型漁船とプレジャーボートは満潮時の航行に限定されかつ慎重な操船が必要とされております。平成29年に作成しました中対馬未来づくりアクションプランの30ある個別事業の中に、狭瀬戸海底掘削事業を渡海船うみさちひこの新たな観光航路として検討するための整備として計画をしているところであります。

狭瀬戸の掘削と拡幅を行うことにより潮の行き来が活性化することが見込まれ、真珠養殖漁場の環境改善にも期待できるものと考えられます。また、渡海船うみさちひこの航行が可能となれば、観光ルートの見直しにより西沿岸ルート、東沿岸ルート、浅茅湾ルートの組合せにより多様なラインナップが形成され、さらに以前より増して浅茅湾の春のゲンカイツツジや新緑、夏のハクウンキスゲ、秋の紅葉、冬の朝霧などの四季折々の景色を船窓やデッキから楽しむことが期待できます。

渡海船うみさちひこと連携した観光ルートの多様性が確保でき、観光客の増加が見込まれ、観光産業の振興につながるものと考えます。

しかしながら、狭瀬戸の掘削・拡幅事業には膨大な事業費が必要になると考えられます。国定公園第1種特別地域となるため、国や県との連携を図り離島振興法や地域創生をはじめとした関連する各種制度を活用しながら、中対馬未来づくりアクションプランを基に目標を立て整理しながら進めてまいりたいと考えております。

そして、あそうベイパークの散策道の話がございました。あそうベイパークにつきましてはちょうど今、ツツジが咲き誇っておりまして多くのお客様も集まっているところでございます。そういうことで、令和3年度の予算のほうに散策道の整備の予算を計上しておりますので、どうぞよろしく願いをいたします。

次に、金田城の整備、PRについてでございますけども、御存じのとおり金田城は一昨年9月にNHKの最強の城スペシャルで最強の城に選ばれたこと、昨年夏からのゲーム、ゴースト・オブ・ツシマの大ヒット、そして11月21日に放映された世界ふしぎ発見、また10月8日には作元議員も出演された沸騰ワード10に取り上げられるなど、メディアを通して大きな注目を集めているところでございます。この流れを途切れさせることがないように長くPR活動を実施していかなければなりません。

金田城関係の取組としましては、現状のコロナ禍にあってはウェブ上での映像による発信が中心となります。ゴースト・オブ・ツシマの関係企業の御理解をいただきながら、関連する動画の作成や関東で開催されたお城エキスポへの出展、聖地巡礼といった海外も含めた旅行者向けの商品造成などを継続して行ってまいりたいと考えています。

また、トイレの整備も行わなければなりません。既に地方創生交付金事業により今年から整備事業を進めておりますが、特別史跡指定エリア内にはいろいろと制約が多いため、自動車トイレの導入で対応したいと考えています。さらに携帯やタブレットをかざすと往時の石畳の様子や各城戸の門がバーチャルに見ることのできるARやVR等復元事業を実施いたします。

対馬観光の売りは歴史と自然でございます。いろんな意味で注目を集めている今が絶好の機会でございます。対馬の歴史や魅力をいろんな手法によりどんどん発信し、対馬に来ていただけるき

っかけづくりの取組を継続して行ってまいりたいと考えております。

次に、藻場造成の現状と今後の取組についてでございますが、対馬市の水産業において非常に重要な資源である藻場は一次生産の場、多種多様な生物の産卵場、稚魚の成育の場など、沿岸環境にとってなくてはならない重要な役割を担っております。

しかし、近年、対馬沿岸では藻場の衰退による磯焼けの進行が顕在化し、その対策が喫緊の課題となっております。磯焼けの原因は諸説ありますが、主なものとして、海況の変化、栄養塩の欠乏、淡水流入の影響、海水温上昇、植食性動物の食害、カキなど競合動物や堆積土による着定基質の占有、汚染などが考えられております。

磯焼け対策における基本方針といたしましては、対馬沿岸藻場再生計画において主要項目を掲げ取組を実行しているところでございます。

具体的な取組の令和元年度実績といたしまして、離島漁業再生支援交付金及び水産多面的機能発揮対策事業を活用し、魚類駆除21組織、貝類駆除32組織、藻類の種苗投入25組織で活動を実施しております。あわせまして各集落において、先進的視察を行うことで仕切り網による母草の育成5集落、イスズミトラップの設置6集落につながっております。その成果につきましては、食害魚の駆除5,325匹、そのうち鮮度の良いものは食材への有効活用につながっております。その中でもイスズミ、アイゴ等の魚類については補助事業を活用した駆除にとどまらず、定置網で漁獲されるものについても今年度から流通実証実験を行っており、令和3年度をめどに一般鮮魚と同様の島内流通体制を確立し、安価で安定した原料確保により飲食店や学校給食への需要喚起を促します。なお、ウニ類につきましては、約56万個の駆除実績となっております。食害の抑制としての効果を発揮しております。また、藻類については仕切り網の中では成長が確認されており、海水温の上昇による影響が懸念される中、食害を抑制できれば生育可能な環境にあることが証明されております。

一方、研究機関による先端技術の導入にも取り組んでおり、環境DNA調査では海水を採取し、水中に浮遊している生物の排せつ物等のDNAの濃度から存在する魚類等の種類、密度等が推計可能であり、継続的な調査を実施することで季節的な変化を考慮した対馬沿岸域の生態系構造が明らかにになるものと期待しております。

藻場の再生は非常に難しい問題であり、即効性のある取組がなかなか見いだせない状況ではありますが、環境変化を注視しながら継続して事業に取り組み、状況に応じて対馬海域の海水温上昇等に即した南方系海藻種の導入や、現在一部地域で導入されている河川流域での植林の拡大等についても取組強化に努めてまいります。

加えまして、汚泥発酵肥料につきましても一部地域で利活用を実施しておりますので、現在の海水成分の状況や海域への有効性等を慎重に調査しながら活用してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 作元議員の御質問にお答えします。

グラウンドゴルフ場の公式化についてでございますが、グラウンドゴルフは老若男女に関わらず気軽に自分のペースでできる競技として、市内各地で多くの市民の皆様がプレイを楽しんでいらっしゃいます。また、自らの趣味や健康づくりを兼ね合わせ積極的に取り組んでおられることは大変良いことだと感じております。

現在、大会は野球場や多目的広場などの広いスペースが確保できる会場で開催されておりますが、競技人口の増加に伴い、より快適な場所での大会開催を望まれる声が多いと思います。

議員も御承知のこととは存じますが、市内には旧町時代からの運動公園をはじめとする様々な体育施設が整備されていますが、老朽化が進み毎年多額の修繕費を費やしている状況です。また、施設の維持に係る経費についても多くの予算を要しております。

以上の状況を鑑み、教育委員会では、現在施設の適正配置や利活用についての総合的な方針の策定を目指しており、令和3年度に関係各方面の御意見を伺うための推進委員会を立ち上げることにしております。

今回のグラウンドゴルフ場の設定につきましても、その中で協議を行っていきたいと考えておりますので、御理解くださいますようお願いをいたします。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ありがとうございます。中対馬の観光関係から若干お尋ねをしたいと思いますが、今市長が言われましたうみさちひこの利用、これが渡海船としての活用はもちろんですけれども、浅茅湾観光クルーズという形でぜひ使っていかなければいけないというふうに思っております。この、今私が言いました狭瀬戸の掘削、300メートルと30メートルの掘削がもしあればきれいなコースが作り上げられると、これは市長も言われたとおりでございますから、ぜひいろんな施策を講じながら、考え合わせながら陳情もしながら、できるだけ早い時期にこの掘削をやってほしいというふうに思います。

また、真珠養殖の漁場も濃部浅茅のほう側と万関側の浅茅湾のほう側に2か所設定をされておりますので、そういった人たちとの話合いも必要かと思いますが、これは真珠が揚げられた時期がありますので、1、2月から3、4月までは使っていませんので、そういったところの協議もよくされながら、できるようになったは、真珠養殖の人たちがでけんちゅうたらこれだめになる可能性がありますので、幅広く意見を聞きながら、ぜひこれも進めてほしいなというふうに思います。

それから、あそうベイパークの件ですけれども、やはり大木が邪魔して視界を阻害している部分がまだあるんです。浅茅湾側に下りていくところに灯台があります。灯台周辺が山猫の生息地になっているそうなんです、あれがね。だから、美津島行政サービスセンターの所長ともちよつと話しましたけれども、見えるように外が。それぐらいの伐採はしてほしいと。そうしないとちよつと暗いんです、あそこ下がっていくのが。だからそこをして、もともとあったあそこに展望台とかアスレチックの簡単なやつがあったんですけど、それも撤去されておりますから、あそこにベンチとやっぱり簡単な展望台ぐらいはセットしてほしいなというふうに、これもお願いをしたいと思います。

そして、今ボランティアの方とよく話をしてみると、鹿が半島に入りだしたということで、鹿の糞がてんとやっぱりありますね、ゲンカイツツジのところに。だからあそこは半島になっておりますから、入り口をやはり金網で塞げば何とか鹿をあそこは防げるんじゃないかなというふうに思っているんですけど、これも検討してみてください。

それから、金田城の件ですけども、ぜひトイレカーの設置をうまく利用できるように、下側に駐車場みたいなごろごろ石のところがありますよね、あそこを少し整地して、やっぱり車が5、6台ぐらいは止められるように自分たちですればいいんじゃないですか。そういったことはやはり臨機応変にやるべきだと思います。車止めるところがないんですよ、今からぜひ絶対ゴースト・オブ・ツシマの関係をPRに使うことはできませんけども、金田城には必ず人が今度は、コロナがなくなれば絶対また来ます。そして、国がGo Toキャンペーンをまたやりだすと必ずやって来ますよ。それで、ゴースト・オブ・ツシマで500万、600万の人たちがゲームを見た人は対馬に行ってみたいなというふうに思っていると思うんです。和多都美神社の寄附もそうですけども、この人たちが対馬に来るようになると、急いで整備をしていかないと間に合わないと僕は思います。だから、トイレカーとか駐車場とか道路の悪いところを削ってきれいにするとか、そして、一番上の展望所にはゲンカイツツジも100本でも植えてもらおうとか。今あるのはあるんですよ、ゲンカイツツジが。でも、ばらばらしかないですよ。そういったことの植栽もひとつ考えたらどうかなというふうに思います。そして、秋にはここにダンギクがいっぱい咲くんですね、あの石垣のところにね。これも鹿から食われんようにしっかり保存できるようにしてもらわないと。またキスゲみたいの一つもなくなりますよ、あれも。こういったところは手がけてほしいと思います。それで金田城の行ったあかしとして御城印というのがありますね。僕もずっとあっちこっち行くときに、御朱印帳を持っていくんですけど、これが金田城の御城印です。彦根城とかこれにいっぱい貼って持っているんですけど、こういったものを求めて来る人もおるんですよ。御朱印帳を抱えて。だから、行ったところのあかしとしてこういったものをもらいに来る人もおる、買いに来る人もおる、書いてもらう人もおる。これもやっぱり対馬のPRになります。

だから、100名城のときにNHKで取り上げた高橋英樹とか春風亭昇太とか、こういった人たちももしよければテレビ局と一緒に対馬で山城の大イベントを開いたらどうかな、これも頭に入れておいてほしいなというふうに思っております。

この御城印の話をちょっとしますけど、沖ノ島の宗像大社の今JRが造ったクイーンビートル、あれを使って観光船に使っているみたいなんです、今ね。平戸とか、ああいったところをぐるっと回って沖ノ島も回るコースもあるみたいで。だから、沖ノ島コースを回っていったあかしとして、宗像大社の御朱印を乗船記念に渡しているみたいなんです。

だから、対馬も観光バスで行く人とか、こういった人には金田城の御城印を記念として渡したらどうでしょうか。これも提案をしたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） かなり多くの御提言をいただきました。

まず、狭瀬戸の掘削につきましてはこちらのほうで事業費を算定いたしましたら、環境アセスメント等も含めると約4億円ぐらいの事業費が必要になるかということを試算しておりますので、今後またいろいろな補助事業を活用するために研究をしてみたいと思っております。

それから、ベイパークの関係で見通しが悪いということで樹木の伐採をもう少ししてくださいということであります。ここは、先ほども申しましたように、第1種特定地域になっておりますので、なかなかその許可を得るのが難しいところもございますが、県のほうと協議を重ねながらできる限り希望に沿うようにしていきたいと思っております。

そして加えまして、鹿の被害対策で確かに入り口のほうを止めればある程度の鹿は止まるのかなという思いを持っていますが、ただ鹿はどうしても泳いで渡るといのがありますから、こちら辺は、ちょっとまた担当課のほうと研究をさせていただきたいと思っております。

それとまた、この次に金田城の整備に合わせていろいろな御提言もいただきましたし、何せ対馬のためにやれというような励ましのお言葉もいただきまして、大変感謝をしているところでございます。そういうことで、観光バス等で訪れたお客様に議員御提言のこの御城印等を何とか発行ができないかどうか、また協会のほうとも協議を重ねながら、ぜひこのことについては実行につなげてまいりたいというふうに思っておりますし、芸能人の高橋英樹さんの件につきましては、ここでは、向こうの都合もありますし、これからの事業として研究をさせていただければということも思っております。

以上でございます。

それと、申し訳ございません。私の当初の答弁中、沸騰ワード10につきまして10月8日ということで答弁いたしましたけども、ちょっと間違っております1月の8日の放送でございますのでおわび申し上げます。



○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ぜひ対馬の将来展望ということを十分に考え合わせて計画を進めてほしいと、商工観光も含めてぜひ進めていただきたいというふうに思います。

それから、あそうベイパークの散策道、頂上につくテープが張ってありますよね、今。あれ予算が今度つけられております。通ればされるんでしょうけども、よくあそこの責任者の方と相談をしながらいつするのか、時期的に。今満開ですからされませんので、恐らく11月ぐらいかなとは思いますが、100本ぐらいはやっぱり植栽をし直さなきゃいかんそうですよ、あれをつくるためにね。だから、そういったところもぜひ相談しながら進めていただきたいなというふうに思います。

はい、この件はもうこれでいいです。

それから、藻場の件ですけども、今非常に難しいんですけどね、この藻場造成というのは。でも、やっぱり海と山ということを考えるときには、どうしてもやっぱり継続した施策をやっているかなとなかなか。1回肥料を海の海岸沿いにまいたことがありますよね、昔、昔というかわかりませんが、それはすぐに流れ出てしまうので、これからは水産部とも話をしながら、海に流れ込んでいく川、河原周辺にああいったものを海から流れてくる栄養に見立てて置いていたらどうかなというふうに私は思っているんですよ。だから、この前クヌギのときにも、植栽のときにもそれ使わせてもらっているんですが、ぜひ余って余ってしょうがないものがあるから、あれを活用してほしいなど。それは、成分も市長が言われるようによく研究をされてね、やってください。そうすると、きっと流れ込んで来る海沿いには藻場が形成されてきやせんかなと思うんです。だから、今過去に囲ったところはきれいに伸びているんですよ。私たちのところでもやっていますが、網の小さい目の中に入れていたカジメはどんどん太っている。だから、外に置いたやつはもう締め出しを食う。何か方法を考えながらこの藻場造成も進めてほしいと思います。

藻場造成で何かあれば。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この藻場造成につきましては、議員も今おっしゃられたように大変難しい事業であります。ましてやこの原因等が海水温の上昇とか食害魚が増えたとか、いろいろあるところでもありますけども、ただ、この藻場というのが魚類を増やすためのナースステーションでありますので、何とかここを守っていきたいというふうに考えております。

そしてまた、今年度3地区で森・川・海の関係でクヌギ等を植栽をしていただきました。このことにつきましては本当に心よりお礼を申し上げたいと思います。そういう中で市といたしましても、今現在、少し余っております、余るといったらおかしいんですけど、ありねよし等の肥料を有効活用にするため、いろんな活用策を今後も検討してまいりますし、もし、御要望があれば

それにお応えしてまいりますので、どうぞ今後ともよろしく願いをいたします。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） それでは、教育長に1点お尋ねをしておきたいと思いますが、グラウンドゴルフの関係で各地で今やっておられますよね、グラウンドゴルフ場。これは案外広いところじゃないとされんとですよね。50メートル線が2本要ったり30が2本要ったりするセットをしなくちゃいかん球場が要りますので。まあ今、適切な配置の見直しをすると、検討をするというような答弁をいただきましたので、ぜひ早いうちにこういったことは解決をしてほしいなと思います。そして、芝のあるところや芝のないところやいろいろあって、やっぱりできれば4面取りたいというところがあるんです、今年は壱岐対馬の大会も対馬でやられるそうですね。それで、大会が何か結構40近くあるんじゃないでしょうか、大会が。いろんな会社が主催する大会もあるんです、農協とか漁協とか、あるいはそういったところが主催する大会がいっぱいあって、それに皆さんが集まって来て和気あいあいのうち、いい交友ができています。だから、こういう会場を早くセットしてほしいなというふうに思っております。

それから、豊玉の話をちょっとしますけども、こどもたちが日曜日に野球の練習をしています、あそこで。豊玉の運動公園、あれは野球場になっているのかな。だから、日曜日かな、やってきてしておりますので、大会をするときには僕は峰か美津島でもらうようにできるだけそういった配置の仕方をしてもらって。日にちが取りにくいらしいですよ、グラウンドゴルフも。雨が降ったらされんし、いろんなことがあって、こういう要望もたくさんいただいております。

だから、配置の仕方をよく考えられて、そしてひとつ豊玉の話をしてもらいますけども、中学校のソフトボールの練習をしている会場は豊玉高校の仁位の公民館側のあそこにマウンドもあるし、あそこでしてくれんのかなあと思うんですけど。その辺どうですかいね、されんとかね、練習場。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 豊玉小学校のソフトボールですか。

○議員（17番 作元 義文君） いやいや、豊玉中学校の、豊玉中学校かどこの中学校か分かりませんが、中学校の生徒たちが野球の練習をしているんです、豊玉のグラウンドで。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） あれは社会体育で豊玉中だけではなくて近隣の中学校からこどもたちが集まってチームをつくってやっているわけですけども、中心は豊玉でやっているみたいですけども、重なったとき等は峰の野球場で練習をしております。今言われるグラウンドゴルフ場の公式化ということで、それぜひ以前の旧町時代の野球とかソフトの盛んだった頃、若者の多か

った頃つくられた施設が中心となっておりますので、今後の対馬の人口構成、高齢化を考えたときには、やはりそこらあたりをもうぜひ見直す時期、見直さなければならないというふうに考えておりますので、ぜひ来年度その方向性を見いだしたいなというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ありがとうございます。

ますますこのグラウンドゴルフの人口というのは増えてくると今から思っておりますから、大会がなるだけ多くできるような会場をぜひセットしてほしいなというふうにお願いをしておきたいと思えます。

それから最後になりますけれども、あそこの草刈りトラクターがもう壊れて、10月か11月にはもう壊れとったっじゃなかろうか。それで今予算を見ますとちゃんとつけていただいて、予算が通れば執行していただくんでしょうけども、ぜひそういったところもお礼を申し上げておきたいなというふうに思えます。やっぱり芝の状態をきれいにしておかないと、年寄りも、いいますからね、「これ、何か」と。そういったことがないように。刈る人がきれいにいつもあそこは刈ってくれていますから、ぜひそういったところもお願いをしておきたいなというふうに思えます。

それから、もう時間がありませんけども、最後に市長に1点だけお願いをしておきます。

これは観光、まあ何ちゅうかな、国定公園の見直し、いつかも私は言ったと思うんですけど、昭和43年に設定されておりますよ、この壱岐対馬の国定公園は。だから、もう50年も60年も木がそのまま伸び放題しとって、何かちゅう話をしてみませんか、県に行ってから。切られるところは切らせてくれんね、見直すところは見直してくれんか、いうふうに言ってください。そうせんと、開発もされん、観光の進め方も進まん、いうことになりますので、よく県のほうとも話をして、見直すところは見直してくれという話をしてください。

最後にお願いをして質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） 答弁はいいですかね。（「はい」という者あり）答弁いいですね。

これで、作元義文君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩とします。

再開の時間ですが、本日3月11日は東日本大震災から10年を迎えます。市において大震災で犠牲になられた方々の御冥福をお祈りし追悼の意を表すため、大震災の発生時刻午後2時46分からサイレンを1分間鳴らすことになっております。議会におきましてもサイレンに合わせて1分間の黙禱をささげたいと思えます。

議事日程からしますと、午後からの一般質問時間内に当たりますので、開始時間を5分早めて